



どうにかする力

泗水小学校だより
R4. 10. 4(火)
No. 25
校長 工藤竜一

【校訓】 なかよく つよく しんけんに

【学校教育目標】 自立する泗水っ子の育成

～「生きる力＝どうにかする力」を育む教育活動を通して～

前期の終了にあたり本校教育活動へのご協力ありがとうございました！

今週末の7日（金）に前期の終業式を迎えます。当日は、通知表を持って帰ります。前期のがんばりを認めていただきながら、後期の目標も話し合っていただけだと思います。

13日（木）から後期が始まりますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

給食が再開しました！

夏休み明けから1ヶ月以上、ご迷惑をおかけしましたが、10月3日（月）から給食が再開しました。この期間は、毎日弁当を持たせていただき、ありがとうございました。給食再開のため授業終了の時間が20分遅くなります。



久しぶりのおいしい給食の様子（3年1組）

学校を縁の下で支える仕事～教員業務支援員・中原英昭先生ふさあきの紹介～

昨年度から泗水小に勤務されている職員として、教員業務支援員の中原英昭先生がおられます。県採用の会計年度任用職員として、1日4時間勤務されています。

仕事の内容は、「教員の負担軽減に資する業務」と規定されており、授業で使用する教材及び家庭に配付する文書の印刷・仕分け、資料の整理、学校行事の準備補助、新型コロナウイルス感染対策のための消毒作業などを行っておられます。さらに、設備の営繕（例えば、鳩対策のネット設置や時計の設置など）やフッ化物洗口の補助などもされています。

朝早くから出勤されて、勤務時間いっぱい、校舎・校地内を忙しく動き回って仕事をされています。中原先生のおかげで先生方の業務負担が軽減されており、その分、先生方が子どもたちと向き合い、指導する時間の確保につながっています。中原先生は、花房小学校の学校運営協議会委員も務めておられ、菊池市の学校教育・社会教育の振興にも尽力されている人物です。また、木を加工した工芸作品づくりがお得意で、校長室に作品を展示させていただいています。本校を縁の下で支えていただいております。大変感謝しています。



中原先生の消毒作業の様子

☆校長室から独り言22☆

「あなたが絶対に知るべき唯一のものとは、図書館の場所である。」（アインシュタイン）③

先日、息子が私と妻に一冊ずつ本をプレゼントしてくれました。私には、『人の上に立つ』ために本当に大切なこと（ジョン・C・マクスウェル著）という本でした。「校長ならこの本は読んでおくべきだと思う。リーダーシップ論の名著だから。」と電話がありました。

息子は、今、東京駅八重洲口に本社がある会社に勤めていて、会社の帰りによく「八重洲ブックセンター本店」（映画やドラマの本屋さんのシーンでよく使われる店）に立ち寄るそうです。息子が小学校低学年の頃に家族で作った標語に、「ノーテレビ 家族の会話 楽しいな」というのがあります。我が家は、週一回のノーテレビ・ノーメディアデーは月曜日にしていました。息子に決めさせました。月曜日は、プロ野球セ・リーグが休養日で、テレビ中継がないからです。その日の夜は、家族三人で本を読んだり、会話をしたりして過ごしました。

また、小学校低学年までは、家族三人で川の字になって寝ていました。寝る前に必ず絵本の読み聞かせをしました。息子に読んで欲しい本を選ばせるのですが、よく持ってきた絵本が、「三びきのやぎのがらがらどん」（ノルウェーの昔話）でした。ストーリーに面白さは感じないのですが、妻が登場人物になりきって声色を変えて会話文を読むのに、息子ははまっていたようで、喜んで聞いていたのを覚えています。懐かしいです。そんな息子が、私と妻に本を選んで、プレゼントしてくれるようになったんだなあと思いました。